



# ゆたか病児保育室だより

～ゆたかクリニック病児保育室情報誌～

2020年 第2号

営業日：月曜日～金曜日 8:00～17:30

休業日：土日祝日、ゆたかクリニックの休診日

こんにちは。ゆたかクリニック 病児保育室です。

お子様が病気に…。でも、仕事を休めない。そんな時にお子様をお預りするのが病児保育室です。

様々な病気のお子様をお預りする当施設では、お預りしたお子様に他の病気がうつらないよう、様々な点に注意して保育を行っています。

※このことを感染防止対策と呼んでいます。

第3号では、ゆたかクリニック病児保育室での感染防止対策についてご紹介します。

病気の原因になる微生物は殆ど「ウイルス」と「細菌」です。これらは病気の子どもの体液(だ液、鼻汁など)と大便にいます。

ウイルスや細菌が少しでも他人の目・鼻・口に入ると病気がうつります。他人の目・鼻・口へウイルスや細菌が入るきっかけは、病気の子どもの咳やくしゃみを顔にあびる(飛沫感染)か、病気の子どもの体液や大便を触った手で、自分の目・鼻・口を触る(接触感染)かの二つです。

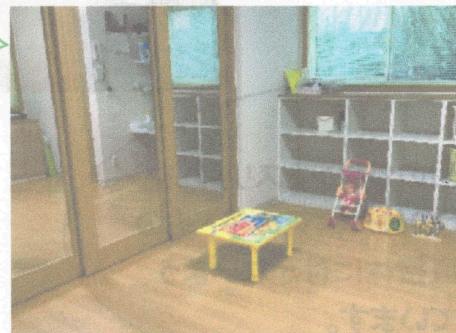
したがって、病児保育室での感染対策は「病気の子どもの咳やくしゃみを他の子どもにあびさせない」、「病気の子どもの体液や大便を他の子どもに触れさせない」が基本です。

## ●病気別に部屋分けをします

私たちは、違う病気のお子様(例えば水ぼうそうのお子様と普通のかぜのお子様)を同じ部屋で保育することはありません。

保育室の写真です。

このようなお部屋が4つあります。



4つの個室を準備していますので、1日に4種類の病気をお預りできます。1つの部屋でお預りできる人数は、年齢にもよりますが、最大3名です。

みずぼうそうの子どもと普通のかぜの子どもの部屋を分けることで、お互いに別の病気の子どもの咳を浴びること(鼻水に触れること)はありません。



## ●トイレは各部屋に備えております

つまり、別の病気のお子様と同じトイレを使うことはありません。



ノロウイルスや O157 など大便で感染する病気を防ぎます。



※連日で利用されるお子様は、連日同じ部屋で保育します。部屋を変えることで、前日にお預りしたお子様の微生物が万が一残っていた場合の感染を避けるためです。

## ●当施設には保育士が3名おります

原則として保育士1名で1室の管理を行っております。

つまり、みずぼうそう部屋の担当保育士が普通のかぜ部屋へ入ることは原則としてありません。



保育士は部屋専用のガウンとスリッパを着けることで、保育士の体に病気の子どものウイルスや細菌が直接体に付かないよう配慮しています。



## ●保育室の清掃と消毒

① 保育中にだ液や下痢便で床が汚染された場合は、発見後、すみやかにそれらを拭き取り、さらに次亜塩素酸で消毒しています。

② 使用した保育室の清掃と消毒について。

床面は、小さなゴミやほこりを取った後、100℃の蒸気が出るスチームモップで拭き、細菌・ウイルスを除菌します。

また、必要に応じて中性洗剤での清拭も行います。

家具(イス・棚・テーブルなど)や、保育室内でお子様の手が触れる壁や扉は、中性洗剤で清拭し、必要に応じて消毒用アルコールで消毒します。



## ●おもちゃ・絵本・哺乳瓶・スプーンなどの消毒

保育に使用した物品は、水で洗浄できる物はまず洗浄し、その後すべての物品について、紫外線または加熱での殺菌を行っております。



おもちゃや絵本の殺菌をします。



哺乳瓶やストローマグの殺菌をします。

## ●バスタオル、シーツなどの洗濯と消毒

使用したバスタオルやシーツは、通常の洗濯をおこないますが、体液が付いたものは次亜塩素酸で消毒をしています。



## 病児保育室では随時見学受付中です

保護者の皆様、保育園の先生方  
お気軽に見学にお越しください  
(お電話でご相談ください)



ゆたかクリニック 病児保育室

住所: 小倉南区湯川新町4丁目25-2

電話: (093)-932-7550

<http://www.yutakaclinic.com>

